

農業に思いを馳せ大阪の近郊農家に「ふるさと」探しはじめる

前原千寿子

私が、ふるさと＝実家プロジェクトに興味をもったのは、アメリカの友人からアメリカ合衆国の原住民であるインディアンの思想に感銘を受けたからです。

●アメリカインディアンの教え

批判ばかり受けて育った子は非難ばかりします
敵意にみちた中で育った子はだれとでも戦います
ひやかしを受けて育った子ははにかみ屋になります
ねたみを受けて育った子はいつも悪いことをしているような気持ちになります
心が寛大な人の中で育った子はがまん強くなります
はげましを受けて育った子は自信を持ちます
ほめられる中で育った子はいつも感謝することを知ります
公明正大な中で育った子は正義心を持ちます
思いやりのある中で育った子は信仰心を持ちます
人に認めてもらえる中で育った子は自分を大事にします
仲間の愛の中で育った子は世界に愛をみつけます

自分の足元を見てもよと、週末お邪魔している奈良県御所市の自然農法「ゆにふぁ～む」の村田さんと共に、葛城の限界集落「伏越ふしごえ」とすぐ近くの「竹ノ内街道」へ現状を見に行きまいました。以前、この集落には約100人の村人が居たそうです。もし「世界が100人の…」の様に循環する村。人種国籍、性別を超えて、その人がその人として存在できる村を作る旅の始まりです。



日本全国にある「里山」、そして「限界集落」という言葉。

そんなことを思いながら自分が本当に感じたい生活をスタートさせるべく、まずは家探しからはじめようと思っています。「自分の責任」とは本来「自由な自己表現」だと思っています。エネルギーも

すべて一体となり循環する村づくりと一緒にしていただける人々と共有していきたいと考えています。本当に大阪と奈良近況に放置耕作地が多いことにあらためて気になりました。



村田さんの畑「ユニファーム」(奈良県御所市)から月二市は毎月第2金曜日 10時～13時30分頃までGCON事務所店舗で販売しています。

財政が大ピンチ！ 年会費(1口2000円)振込み、カンパのご協力をお願いします！